

# 令和元年度 事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人WE21 ジャパンひらつか

## 1. 事業の成果

①資源のリユース・リサイクルを推進する事業は、衣類、食器、日用品など市民からの寄付が1年中途切れなく続き、感謝の声が常にメンバーから出ていました。ひらつかの中で2つのWEショップがしっかり根を張った市民活動になっていることを実感する日々です。寄付するものを自宅で選別し、自分の足でWEショップに持ち込む・・・活動が当たり前になり、寄付する市民、受け取って時を見計らってショップに並べ、販売するのが一連の協力活動と見えて、互いに面白がっているのを「自覚する市民が増えて行く」資源循環事業と名付けたいと会員に話すことがしばしばになっています。寄付で頂いた着物をほどこき、次の衣服や日用品に作り替える「リメイク」活動が感嘆の声で迎えられています。身につけるもの以外にも多種多様なリユース活動が進み、WEショップ活動がまた進んでいっていると実感できています。

②アジア等における市民、とりわけ女性の生活の向上と自立のための活動を支援する事業を進めました。毎年、支援協力事業のパートナー団体、インド西ベンガル州で活動するNGO、DRCSCとの長い活動は今年も現地を訪ねる時間で確認する1週間のモニタリング事業を進めました。1月の末から2月初めにかけての時間で、去年より拡大している生活改善運動や子どもたちの教育の現場など、WEショップで生み出した支援協力金の成果を確認し、喜びました。しかし、その時点ですでに新型コロナが世界のあちこちに被害者を出していました。インドの村に滞在している時は「今！」のニュースに接することが難しく、コルカタの国際空港に大きな貼り紙を見ながら帰国の途につきました。その時、広いインドに感染者はまだゼロでした。村の女性たち、子どもたちの無事を祈る思いが日本の成田空港に到着して感じたのが最初になりました。WE21 ジャパンひらつかが「民際協力事業」と呼び、互いを思いやる活動は世界の広さと互いの心と心の距離感が近い活動です。ショップで頂いた寄付品が現金になって、インド、カンボジア、フィリピン、アフガニスタンやバングラデシュの女性の応援と力を生み出していく実感を得る1年間でした。

③多文化共生を進めるための事業は、今年も「みんな de Café」を湘南JRC主催の日本語学習支援教室の会場として引き続き提供しました。小学生、中学生以外にも大人の女性が言葉に困惑して訪ねてくることがあり、市内に何か所もこのようなところがあってドアが開いていますよ、と笑顔で迎えたいと思っています。元中学校の教員がボランティアでの静かな活動を続けています。県内の日本語がルーツではない小学生、中学生、高校生たちの学習環境の様子を市境を越えたWE21仲間とともに訪ねたり、様子を聞く機会を持つようになっています。

④地域市民の国際的な意識の自覚を促進する事業は、2つのWEショップで進めました。インドのNGO、DRCSCとの協力事業は普段知ることが少ない「インド」に近い実感で捉えられています。年に一度の互いの訪問は外国は遠くない、外国はここにある、感覚が生まれます。新型コロナが邪魔をしないであることを願いながら。

⑤この法人の事業の広報普及を図る事業は、WEニュースを年間2回発行、ひらつか独自のブログを年間55回更新し、WEショップに足を運ばない市民にも好評を得ました。ショップ内での広報掲示にも力を入れました。

## 2. 事業内容

### (1) 特定非営利活動に係る事業

#### ①資源のリユース・リサイクルを推進する事業

- ・内容 限りある資源の有効活用を広く市民に伝え、寄付品として提供を受け販売して収益を事業活動と支援事業に活用する。
- ・日時 通年
- ・場所 WEショップひらつか代官町店・・・平塚市代官町 11 - 30  
WEショップひらつか旭店・・・・平塚市徳延 563 - 2 - 102
- ・従事者人員 延 2,948 名
- ・対象者 平塚市と近隣の市民
- ・支出額 10,671,352 円

#### ②アジア等における市民、とりわけ女性の生活の向上と自立のための活動を支援する事業

- ・内容 支援先の NGO、NPO の事業を共有して、互いに協力し合う民際支援協力活動を進めた。インド西ベンガル州を基点にする NGO の DRCSC や、NPO 法人シェア＝国際保健協力市民の会、NPO 法人ジュマ・ネット、JIM-NET（日本・イラク医療支援ネットワ

ク）に継続して支援協力を進めた。

「東日本大震災復興支援」も継続し、福島県を拠点に活動する NPO 法人ザ・ピープルに支援した。国内の支援事業は西日本豪雨災害被災地への緊急募金活動も進めた。

- ・日時 通年
- ・場所 WEショップひらつか代官町店・・・平塚市代官町 11 - 30  
WEショップひらつか旭店・・・・平塚市徳延 563 - 2 - 102
- ・従事者人員 12 名
- ・対象者 日本、インド、カンボジア、バングラデシュ、フィリピンの主に女性や子どもたち  
シリア難民。フィリピンシキ穂ール島の小中学校の子どもたちに文具や小楽器を送る活動も継続できた。国内自然災害の被災者への支援協力
- ・支出額 567,227 円

#### ③多文化共生を進めるための事業

- ・内容 人権を擁護し、公正な市民社会を実現するために「みんな de café」を主な会場に、相互理解を深める市民のサポートを進めた。福島支援の物産販売、リメイク授業の活動も。
- ・日時 通年
- ・場所 みんな de Café・・・・平塚市徳延 563 - 2 - 101
- ・従事者人員 延 172 名
- ・対象者 平塚市と近隣の外国にルーツのある市民や地域市民
- ・支出額 553,055 円

#### ④地域市民の国際的な意識の自覚を促進する事業（教育・共育事業）

- ・内容 WE 21 ジャパンひらつかの会員と会員以外の市民を対象に各種講座や学習会を開催。海外のモニタリングツアー報告会などを開催。カンボジアの母子保健活動報告会を開いた。
- ・日時 通年
- ・場所 みんな de Café、 WEショップ代官町店

- ・従事者人員 30名
- ・対象者 一般市民

⑤ この法人の事業の広報普及を図る事業

- ・内容 WEニュースの発行、ホームページ、WEひらつかブログの活用、会員レターの発行及びショップ内外の掲示等により情報提供を解りやすく来店者、会員、市民へ発信した。
- ・日時 通年
- ・場所 ひらつか市民活動センター、広報担当理事の自宅
- ・従事者人員 4名
- ・対象者 会員、一般市民
- ・支出額 13,897円